

「まことの知恵」 <先週の講壇より>

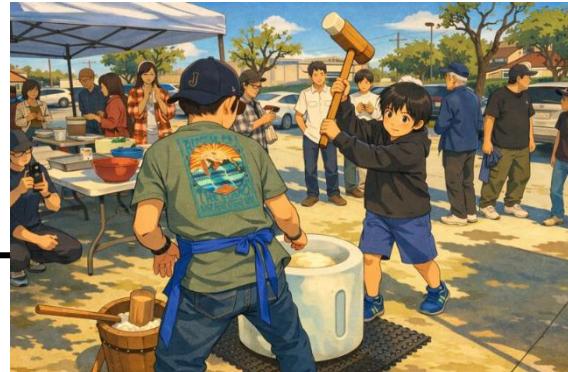
「イエスはますます知恵が加わり、背たけも伸び、そして神と人から愛された。」ルカ 2:52【口語訳】

私たちの教会の餅つき、数年前まではお借りした石臼を使っていました。ところが事情でそれが使えなくなつて、なんと今はプラスチック製の臼を使って餅つきをしています。日本から輸入したものですが、すごく軽く、保管しやすく、取り扱いが簡単。

ご存じの通りに餅つきとは、杵を振り下ろしてペッタンペッタンとつくものですから、「そんな軽いもので大丈夫なの?」と思うことでしょう。実はこのプラスチックの臼、使用する際には中に水を満タンにして使うのです。こうすることによって、木臼や石臼のように重くなり、振り下ろす杵にも耐えられるというわけです。

臼は重くなければ、杵には耐えられません。土台がしっかりとしないければ、芯がなければ、耐えられないのです。それと同じように、雨や風や嵐が吹きすさぶような私たちの人生に大切なものの、それは土台であり、芯なのだと言うことができるでしょう。まことの知恵、それは人生に土台をしっかりと据えること、芯をしっかりと持って生きることです。その知恵、それはまことの神様を知り、仰ぎ見て生きるということだと、聖書は教えています。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《主の祈り》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、惡より救い出し給え。國と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《使徒信条》。

私は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。私はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖靈によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより來たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。私は聖靈を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英國で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けていた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2026年1月18日



礼拝：9時半～  
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org  
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630  
Facebook: オレンジ郡キリスト教会  
ホームページ: www.occc.org



[教会年間聖句]

「わたしたちにも

祈ることを教えてください」

ルカ 11:1



☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:30

聖書クラス : 10:45-11:45

現在第四または第五週

第一と第三は祈り会／初心者クラス

